

Yamaha MOTIF-RACK XS Editor Standalone/VST V1.6.3 for Windows Release Notes

ご注意

すでに V1.4.0 以前の MOTIF-RACK XS Editor VST をコンピューターにインストールしている場合は、本バージョンをインストールする前に、V1.4.0 以前の MOTIF-RACK XS Editor VST をアンインストールしてください。

主なアップデートの内容

V1.6.0 → V1.6.3

- Cubase 7.5 に対応しました。
- Windows 8.1 に対応しました。
- Cubase 5 シリーズに非対応になりました。
- Windows XP/Windows Vista に非対応になりました。
- その他軽微な不具合を修正しました。

既知の問題

- エディターを再インストールした直後などに Cubase のメディアベイに MOTIF-RACK XS のボイスが表示されないことがあります。その場合は、メディアベイのブラウザー上で「更新」あるいは「再スキャン」を実行して下さい。
- Cubase のメディアベイから MOTIF-RACK XS のボイスを選び、Cubase にインストゥルメントトラックを作成してからエディターを起動すると、エディターが OFFLINE 状態で起動したり、Port Open Error が表示されることがあります。この場合、エディターの ONLINE/OFFLINE をクリックして ONLINE 状態にすることで、そのままお使いいただけます。

動作環境

NOTE

- ・ お使いのコンピューターによっては、下記の仕様以上の条件を必要とする場合があります。
- ・ 最新の OS 対応状況については以下の URL をご覧ください。

<http://jp.yamaha.com/products/music-production/support/>

<http://download.yamaha.com/jp/>

OS	Windows 7 SP1/ Windows 8 (32ビット版/64ビット版)*
DAWアプリケーション	Cubase 6シリーズ/ Cubase 7シリーズ
その他	対応DAWアプリケーションとOSの動作環境に準じます。

* Windows 7 に搭載されている Windows XP モード、および Mac OS における Boot Camp 環境でのご利用は動作保証しておりません。

インストールについて

1. ダウンロードした圧縮ファイルの解凍先にある以下のファイルをダブルクリックします。

Install MOTIF-RACK XS Editor Standalone_VST.exe

2. 画面の指示に従ってインストールを実行します。

Windows 8 をお使いの場合

アプリケーションの起動

アプリケーションのインストールが完了するとWindows 8 のスタート画面にアイコンが表示されます。アイコンをクリックしてアプリケーションを起動します。

NOTE

スタート画面にアイコンが表示されていない場合、アイコンのない場所を右クリックすると、画面下に「すべてのアプリ」のアイコンが表示されるのでクリックします。インストールされているアプリケーションが表示されるので、ここからアプリケーションを選んで起動します。

アプリケーションのアンインストール

1. Windows 8 のスタート画面上でアンインストールしたいアプリケーションを右クリックすると、画面下部にアプリケーションバーが表示されます。スタート画面にアイコンが見つからない場合はアイコンのない場所を右クリックし、画面下に表示される「すべてのアプリ」のアイコンをクリックします。インストールされているアプリケーションが表示されるので、ここでアプリケーションを右クリックします。
2. 「アンインストール」ボタンをクリックして、アプリケーションをアンインストールします。

更新履歴

V1.5.0 → V1.6.0

- Windows 8 に対応しました。
- スタンドアローンでも起動できるようになりました。
- その他軽微な不具合を修正しました。

V1.4.0 → V1.5.0

<機能追加/仕様変更>

- Cubase 6 シリーズに対応しました。
- Cubase 4 シリーズには非対応になりました。

<問題の修正>

- Cubase の 64bit 版をお使いの場合、MOTIF XS の All ファイル(拡張子: X0A)を MOTIF-RACK XS エディターにインポートできない問題を修正しました。

- その他軽微な不具合を修正しました。

V1.3.0 → V1.4.0

<機能追加/仕様変更>

Cubase 5.5 シリーズに対応しました。

<問題の修正>

- ファイルメニューから新規作成を選択後に上書き保存を選択すると、保存に失敗する場合がある問題を修正しました。
- エディターがオンライン(ONLINE) の状態でインポートの実行中にエディター画面を閉じると、Cubase が強制終了する問題を修正しました。
- エディター画面を開いた状態で MIDI データを再生すると、まれに Cubase が強制終了する問題を修正しました。
- Cubase のプロジェクトを開いたとき、エディターの VSTi 設定が復元されない場合がある問題を修正しました。
- エディターからモードを変更したとき、全体のボリュームが 0 になる場合がある問題を修正しました。
- エディター画面のクローズボックスを連続クリックすると、Cubase が強制終了する問題を修正しました。
- その他軽微な不具合を修正しました。

V1.2.0 → V1.3.0

<機能追加/仕様変更>

- Windows 7 に対応しました。
- Cubase 5.1 に対応しました。
- Yamaha Steinberg FW Driver V1.5.0 に対応しました。
- エディターの起動時間が短縮されました。
- エディター上または Cubase のメディアベイ上で、ボイスデータの VST プリセットを呼び出した場合は、エディターの現在のモードまたは起動モードの設定に関わらず自動的にボイスモードに切り替わり、同時に本体もボイスモードに切り替わるようになりました。これによって、ボイスデータのより正確な再現をスピーディーに行なえます。

【注記】

上記の操作を行なった場合、エディターおよび MOTIF-RACK XS の編集集中のデータは自動的に消去されます。

- エディター上で[Ctrl]キーを押しながら[S]キーを押すと、DAW ソフトウェアのプロジェクトを上書き保存できるようにしました。

- Cubase のインストゥルメントトラックやメディアベイからエディターを起動するとき、エディターのスタートアップモードの設定に関係なく、ボイスモードで起動するように変更しました。ただし、エディターのオートスタート設定がオンの場合は、Auto Sync Setting (オートシンクセッティング) の Current (カレントデータ) の設定に従い、MOTIF-RACK XS 本体で現在選択されているモードと同じモードで起動します。

<問題の修正>

- Cubase のバーチャルキーボードを使用すると音が鳴り続けることがある問題を修正しました。
- コンピューターと楽器本体を USB ケーブルで接続しているとき、エディターの MIDI 設定が正しいにもかかわらず、エディターが楽器本体と正しく通信ができないことがある問題を修正しました。
- Cubase のメディアベイから MOTIF-RACK XS のボイスを頻繁に切り替えたとき、Cubase が強制終了することがある問題を修正しました。
- その他軽微な不具合を修正しました。

本文に掲載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

(C) 2009-2013 Yamaha Corporation All Rights Reserved.